

# 県立大の研究、活動紹介

県庁で  
パネル展



県立大の研究などを紹介するパネル展

県立大(総社市窪木)の研究や活動をテーマにしたパネル展が3日、県庁1階県民室で始まった。保健福祉、情報工学、デザインの3学部が取り組んでい

る多文化共生や地域再生などを紹介している。7日まで。

学部の研究では、グローバル化が進む中で、海外からの子どもたちを支援するため日本語の教材開発などを進めていることを説明。古民家の改修、空き家に人が集えるようにベンチやカウンターを設置していることなども伝えている。

研究以外にも大学の人材育成事業や理念などを含め、計10枚のパ

ネルにまとめている。同大は2019年から、大学を広く県民にPRしようと県庁で展示を行っている。

(中原由華)

山陽新聞社 提供